

令和 6 年 9 月定例会 資料

長浜市教育委員会

令和6年9月長浜市教育委員会定例会 議事日程

令和6年9月25日（水） 午後1時30分～

長浜市役所5階 教育委員会室

1. 開 会

2. 議 事

日程第1 会議録署名委員指名

日程第2 会議録の承認

8月定例会

日程第3 教育長の報告

日程第4 議案審議

なし

日程第5 協議・報告事項

(1) 「(仮称)長浜市未来こども若者計画」の骨組みについて

(2) 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

日程第6 その他

3. 閉 会

令和6年10月教育委員会定例会開催日程 10月23日（水）午後1時30分～

「(仮称)長浜市未来こども若者計画」の策定に向けた これまでの取組経過など

R6. 9. 25 未来創造部未来こども若者局未来こども若者課

未来こども若者会議

※長浜市附属機関設定条例
第2条の規定に基づき設置
された附属機関・委員 15 人。

<令和5年度>

□第1回(7月27日)

- ・会長、副会長の選出(会長…岐阜聖徳学園大学:西川正晃教授 副会長…合同会社LOC0:宮本麻里代表)
- ・第2期長浜市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況
- ・令和5年度主要なこども若者対象事業について
- ・(仮称)長浜市未来こども若者計画の策定について

□第2回(10月13日)

- ・第2期長浜市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況
- ・ブラッシュアップ部会の設置について
- ・(仮称)長浜市未来こども若者計画の策定に向けたアンケート
- ・ワールドカフェ「30年後の長浜に住むこども若者の笑顔のために大切なこと」

□第3回(11月24日)

- ・(仮称)長浜市未来こども若者計画とこども大綱について
- ・ワークショップ「こどもまんなか社会の主人公を描こう」

□第1回ブラッシュアップ部会※(12月20日)

- ・第3回会議のワークショップで描かれた主人公の人物像の掘り下げ・課題等洗い出し

□第2回ブラッシュアップ部会(12月25日)

- ・第1回ブラッシュアップ部会の続き(主人公の人物像の掘り下げ・課題等洗い出し)

□第4回(1月29日)

- ・こども大綱、アンケート、ブラッシュアップ部会について
- ・ワークショップ「ライフステージごとの大切にしたいことを考えよう」

<令和6年度>

□第1回(6月3日)

- ・(仮称)長浜市未来こども若者計画の策定スケジュール案
- ・子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査結果概要(速報)
- ・第2期長浜市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況等
- ・ワークショップ『「こども若者の笑顔」をデザインし、『すべての人が幸福に暮らせる』社会の実現のためのコンセプト構文を考えよう』

□第2回(9月2日)

- ・(仮称)長浜市未来こども若者計画の骨組みについて

未来こども若者政策推進本部会議／幹事会

※こども若者施策を総合的かつ効果的に推進することを目的とした会議体。

<令和5年度>

□第1回本部会議(4月19日)

- ・(仮称)長浜市未来こども若者計画の策定について

□第1回幹事会(6月22日)

- ・(仮称)長浜市未来こども若者計画の策定について、若手職員によるブラッシュアップ部会設置について

□第2回幹事会(9月12日)

- ・第1回長浜市未来こども若者会議の概要、「こども若者ボイス」について

□第3回幹事会(1月17日)

- ・こども大綱、若者実態調査、ブラッシュアップ部会について

□第4回幹事会(2月14日)

- ・(仮称)長浜市未来こども若者計画の策定について(経過報告)
- ・各部局で考えたい・考えられる「こども若者応援」について



第2回長浜市未来こども若者会議ワールドカフェまとめ

※「ブラッシュアップ部会」こども若者ボイス等で集まった声や意見等を整理分析することを目的に、一部の委員と庁内若手職員で構成する部会。



ブラッシュアップ部会の様子



こども若者ボイス(中学生トーク)のスライド(抜粋)



未来こども若者会議の様子

□第2回本部会議(2月21日)

- ・(仮称)長浜市未来こども若者計画の策定について(経過報告)

<令和6年度>

□第1回幹事会(8月16日)

- ・(仮称)長浜市未来こども若者計画の骨組みについて

□第1回本部会議(8月21日)

- ・(仮称)長浜市未来こども若者計画の骨組みについて

市議会(総務教育常任委員会)

<令和5年度>

□令和5年5月議会(5月18日)

- ・(仮称)長浜市未来こども若者計画の策定について(着手)

□令和6年3月議会(3月15日)

- ・(仮称)長浜市未来こども若者計画の策定について(経過報告)

<令和6年度>

□令和6年9月議会(9月24日)

- ・(仮称)長浜市未来こども若者計画の骨組みについて(経過報告)

こども若者の声を聴く取組

アンケート調査

□長浜市中高生調査(こども若者実態調査/令和5年7月14日~9月11日) 回答数3,027件

□長浜市若者世代アンケート(令和5年7月20日~9月22日) 回答数785件

□みらい長浜創造アンケート(令和5年7月26日~10月3日) 回答数269件

□子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査(就学前児童・小学生をもつ保護者調査/令和6年3月6日~3月19日) 回答数1,909件

サードプレイス「itteki」

自宅や学校でもない高校生・大学生限定のサードプレイス(第3の居場所)。「itteki」は、「一滴の水が落ちたら広がる無数の波紋のように、来てくれた高校生や大学生の輪や個性、想いが広がる場所」などの想いが込められている。令和5年7月実証実験開始、10月正式オープン。以降はメイク教室や夏祭りなど、随時イベントを開催。昨年7月からの利用者は7,000人を突破(令和6年8月)。

※こどもたちの意見を大切にしながら今後の施策等に反映していくためのシカケづくり。

<令和5年度>

□中学生トーク(令和5年7月5日、8月3日、8月22日)

- ・「あなたは長浜市長です!1億円あったら何をする?」をテーマにワークショップを開催し、市長・教育長へ提案。

<令和6年度>

□中学生トーク(令和6年7月3日、8月1日、8月8日)

- ・竹生島で夢を書いた「かわらけ投げ体験」
- ・「大人になった自分はどのように笑顔で暮らしている?」をテーマに未来の自分を発表し、長浜市出身のイラストレーターがイラスト化。
- ・「中学生のみなさんが、長浜のことをもっと好きになって、地域を誇りに思い、愛着をもってもらうためには、『どんなもの・どんなこと』があれば嬉しいですか?」をテーマにワークショップを開催し、市長・教育長へ提案。

□市ホームページで「長浜市に住むこどもや若者たちの笑顔が増えるためのアイデアや意見」を募集(令和6年7月20日~8月31日)

□高校生トーク(令和6年8月19日)

- ・「ここがヘンだよ!長浜市」などをテーマに、市に対し感じていることや提案したいことなどの声を聴くイベント。



こども若者ボイス(中学生トーク)の様子



未来こども若者会議の様子

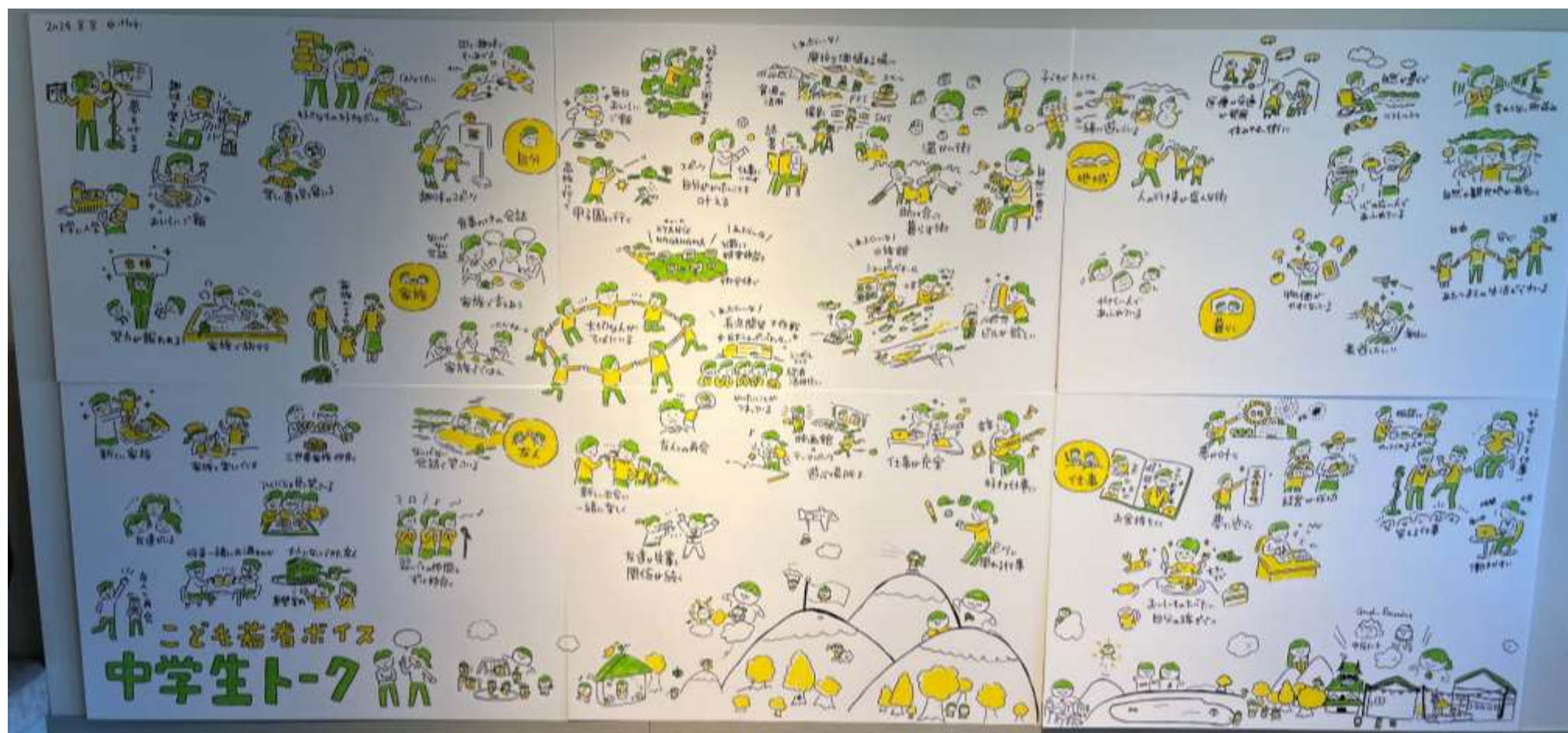


こども若者ボイス(中学生トーク)の様子



イラストは長浜市出身の中尾仁士さん

【中学生トーク】



【高校生トーク】



(仮称) 長浜市

未来こども若者計画/骨組み

背景

国「こども基本法^(R5.4.1 施行)」/「こども大綱^(R5.12.22 閣議決定)」
/「こども未来戦略^(R5.12.22)」

* こども大綱 > 全てのこども若者が、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、将来にわたって幸せな状態（ウェルビーイング）で生活を送ることができる「こどもまんなか社会」の実現を目指す。

こども基本法において、都道府県/市町村はこども大綱を勘案し、こども施策について計画を定めることが努力義務化

県「(仮称)滋賀県子ども基本条例^(R6.11 上程予定)」/「(次期)淡海子ども・若者プラン^(R6 年度策定予定)」

市「(仮称)長浜市未来こども若者計画^(R6 年度策定予定)」

位置づけ

こども基本法第 10 条第 2 項の規定に基づいて策定する「市町村こども計画」

本市では、幅広いこども若者施策を総合的に推進するため、独自に7つの分野（子ども・子育て/子ども・若者/子どもの貧困/次世代育成/ひとり親/母子保健/放課後プラン）を包括した計画を策定

<計画期間>

令和 7 (2025)年度～令和 11(2029)年度（5 か年計画）

現状分析等

* 継続実施・取りまとめ中

- ◆ 母親の就業率： 就学前児童 77%/小学生児童 88%
* 5 年間で約 10 ポイント増加
- ◆ 将来も長浜市に住み続けたい割合：中学生 39%/高校生 33%
- ◆ 長浜市への親しみや愛着がある：中学生 74%/高校生 69%

<把握方法>

未来こども若者会議ワークショップ・ブラッシュアップ部会/
こども若者ボイス（中学生・高校生トーク）/若者実態調査（中学生・高校生・市内若者(18-39 歳）・市外転出者(18-39 歳)）/
子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査/全国学力・学習状況調査/長浜養護学校アンケート調査/市民意識調査/小中学生の生活実態に関するアンケート調査等

ミッション

理念 / 一番大切にしたい考え方

(こども若者 + 大人) × 長浜^{※1} = 未来 (笑顔)

= 主役/まんなか = 共に成長する人

こども若者が大人と一緒にあって 長浜^{※1} に関わることで、笑顔の回数が増え、すべての人が幸福な状態で暮らせる未来を実現します。

※1 長浜

には、地域/企業/人/プロジェクト/イベントなど、本市固有のローカル資源の意味が込められています。

ビジョン

実現したい未来の姿

こども若者 + 大人が 笑顔 になる回数が増えている未来

ビジョンを実現するために整える 3 つのアプローチ^{※2}

ライフステージ^{※3}および多様な環境や状況に応じて必要な価値を提供する「3つのアプローチ」を整えることで、ビジョンを実現します。それぞれのアプローチに、重点的に進める施策と詳細なプロジェクトが紐づく施策体系を構築します。場合によっては、複数の施策を組み合わせることで効果的なアプローチを構築します。

※3 ライフステージ > 妊娠・出産期/乳幼児期/学童期/思春期/青年期/ポスト青年期

1

安心して暮らす = 笑顔

あたり前のように

安心 して暮らすという
アプローチ

◆ 何の心配もなく、あたり前のように安心して暮らせる（遊ぶ、学べる、子育てできる等）アプローチを整えます。

* キーワード(例)：包括的サポート/健康・医療/住居/学校/就学前教育/地域/家庭/安全/愛情/精神的安定/こどもの居場所/コミュニティ/環境

2

成長する = 笑顔

チャレンジして

成長 するという
アプローチ

◆ 今の自分が好きなこども若者が増え、新しい自分にチャレンジできるアプローチを整えます。

* キーワード(例)：自己成長/自己肯定感/自己価値観/学習/スキルアップ/自己表現/創造/チャンス/ポテンシャル/文化/スポーツ/サードプレイス/主体性/柔軟性

3

希望が持てる = 笑顔

未来に向かって

希望 が持てるという
アプローチ

◆ 様々なことに可能性を感じ、自分の夢の実現に向けて行動できるアプローチを整えます。

* キーワード(例)：教育/進学/就職/就業/起業/結婚/妊娠/出産/可能性/契機/期待/選択肢/展望/持続可能/多様性/シビックプライド/DX/イノベーション/交流/企業

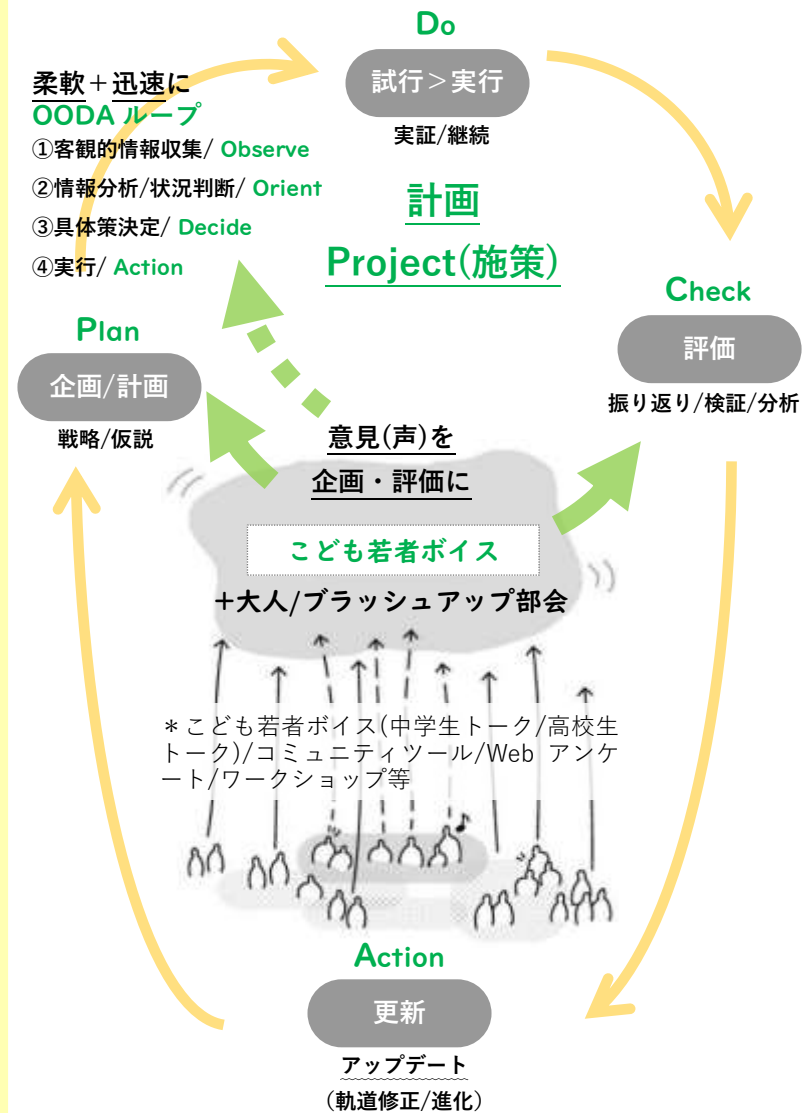
3 つのアプローチに紐づける施策とプロジェクト

具体的な施策は今後の未来こども若者会議、推進本部会議等の中で検討・決定（10～12 月頃）

推進体制

未来こども若者会議
未来こども若者政策推進本部/幹事会

「PDCA サイクル」と「OODA ループ」のハイブリッド



<大切にしたい視点>

- ◆ こども若者がプレイヤー(主語)の視点
- ◆ こども若者の笑顔の回数を増やすにはという視点
- ◆ こども若者と大人が共に進めていくという視点
- ◆ 計画完成後も意見を聴き、アップデートを繰り返していく視点

評価指標（考え方）

数値等で定量的に把握できる指標に加え、地域社会がどのように変化しているかといった定性的な指標にも重点を置きます。

● 計画全体 > > 定性的評価

例「こどもまんなか社会の実現に向かっている」/「今の自分が好きだ」/「自分の将来について明るい未来がある」/「自分には自分らしさというものがある」/「どこかに助けてくれる人がいる」/「生活に満足している」等

● 個別施策（事業） > > 定量的評価

令和6年度全国学力・学習状況調査結果

協議・報告事項(2)

教育センター

調査実施日:令和6年4月18日(木)

1 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象

- ・小学校調査 市内公立小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年 931人
- ・中学校調査 市内公立中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年 902人

3 調査内容

ア 教科に関する調査

- 小学校調査・・・国語、算数 各45分
- 中学校調査・・・国語、数学 各50分

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

※上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

イ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

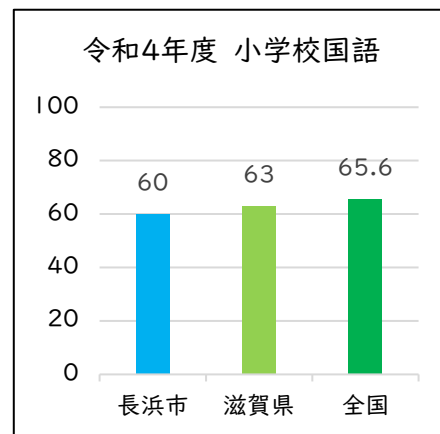
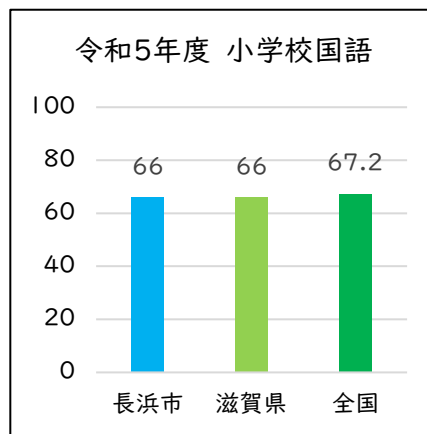
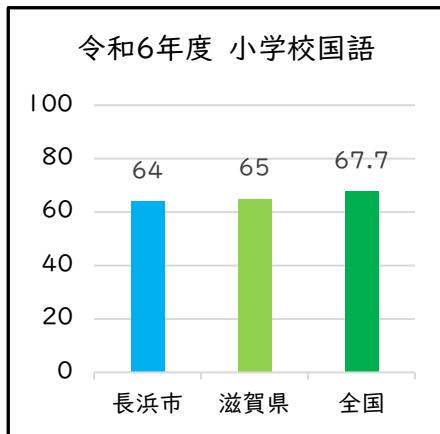
児童生徒に対する調査	学校に対する調査
・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、家庭学習の状況 など	・指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

長浜市の教科に関する調査結果

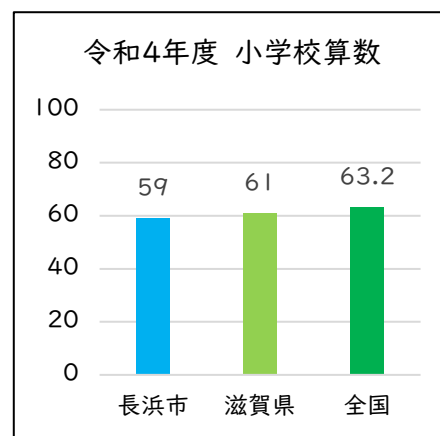
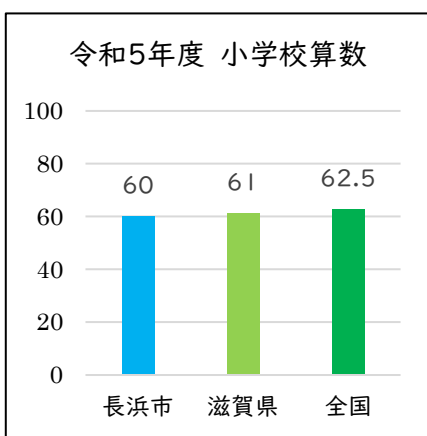
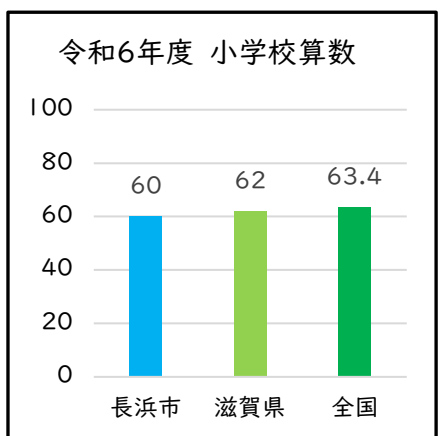
I 平均正答率(%)

【小学校調査】

国語

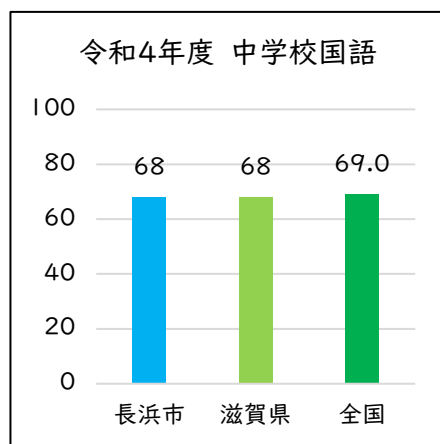
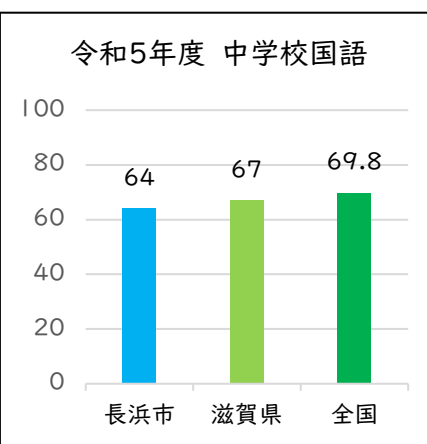
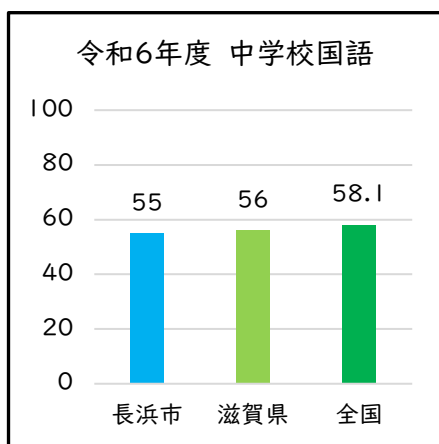


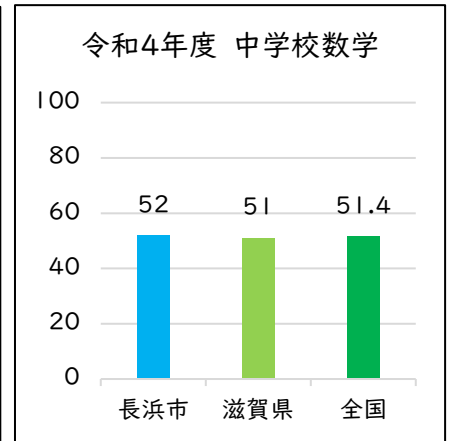
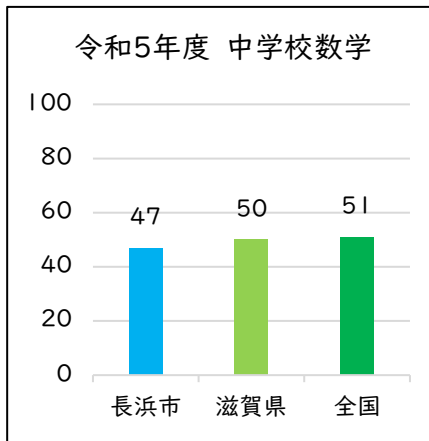
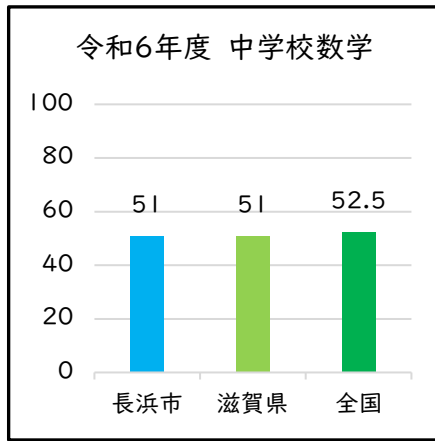
算数



【中学校調査】

国語





※文部科学省がまとめた調査結果をもとに作成しています。

※滋賀県・長浜市の平均正答率は、整数値の公表となっています。

2 結果の概要

今年度の教科に関する調査の結果は、小・中学校ともに全国平均には届きませんでした。また、小学校の正答率を昨年度と比較しますと、両教科ともその差は広がりました。ただし、中学校では全国平均との差は縮まりました。

各教科の学習内容に関わっては、小学校の国語では情報を読み取り、分析や整理することは十分にできています。しかし、「書くこと」の領域で目的や意図に応じて、自分の理解したことや考えをまとめて記述することに課題が見られます。

また、算数では二次元の表からデータを取り出し、分類整理する力が身についています。しかし、「変化と関係」の領域において、数量の関係を捉え、式に表すことに課題が見られました。

中学校の国語では、表現の技法や要約することは十分にできています。しかし、「書くこと」の領域で表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することに課題が見られます。また、数学では、「関数」の領域で、グラフの交点や傾きなど事象に即して解釈することはできています。しかし、数学的な表現を用いて説明したり、根拠を基にして判断した理由を説明することに課題が見られました。

今後、教育委員会ならびに各学校において質問紙調査の結果も踏まえた詳細な分析を進め、教育施策や授業改善を推進し、学力向上につなげていく必要があります。

生活習慣や学習環境に関する調査結果

◇児童生徒に関する調査

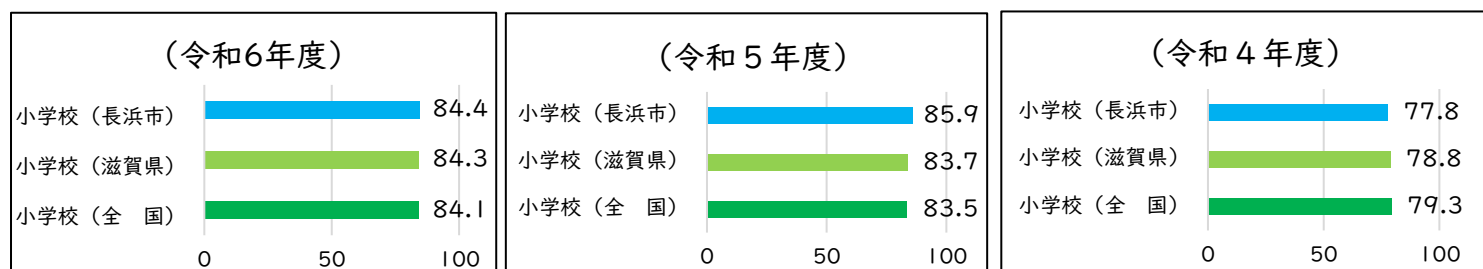
小学生・中学生を対象にした 65 項目の「児童質問紙」「生徒質問紙」の結果から見える長浜市の子どもの姿です。

※ 数字は、質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童生徒の割合を表示しています。

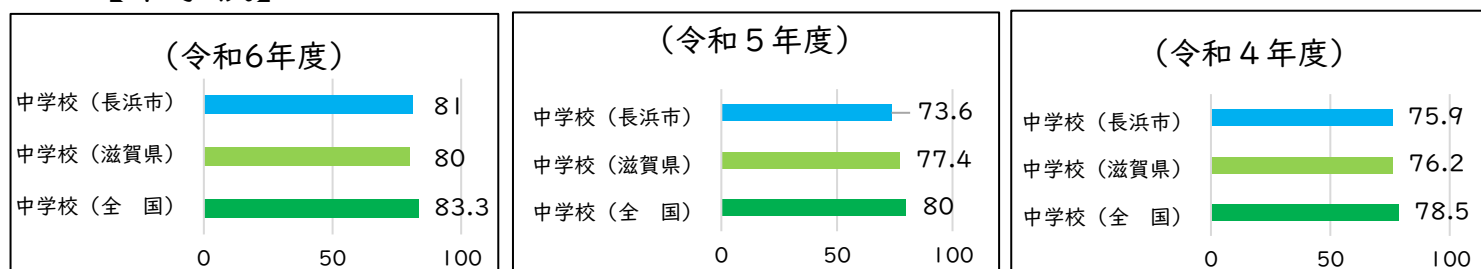
※ 同じ質問事項がない年度があります。

① 自分には、よいところがありますか

【小学校】

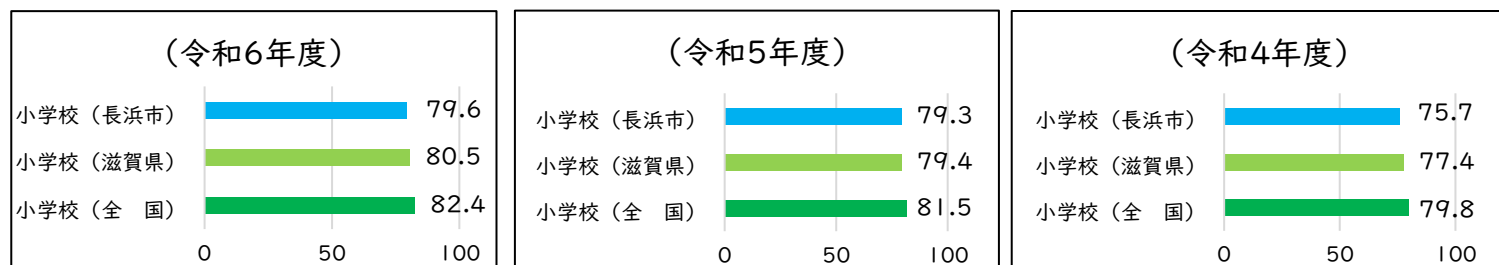


【中学校】

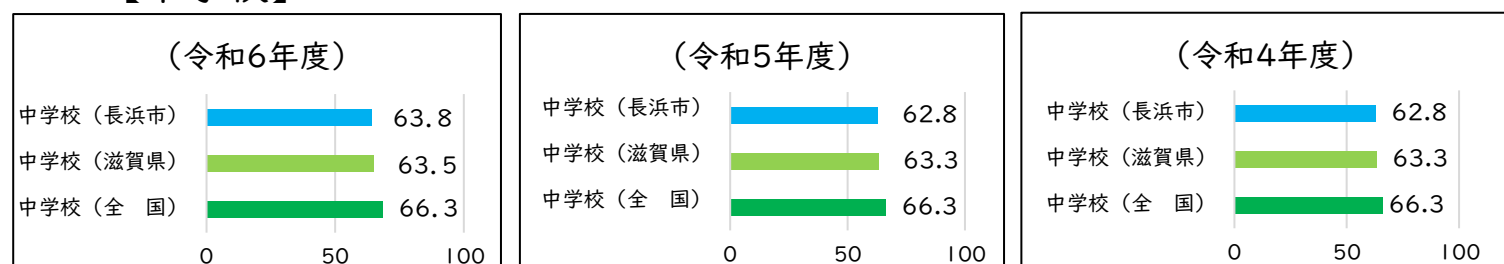


② 将来の夢や目標を持っていますか

【小学校】

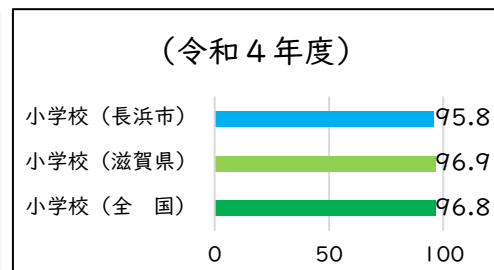
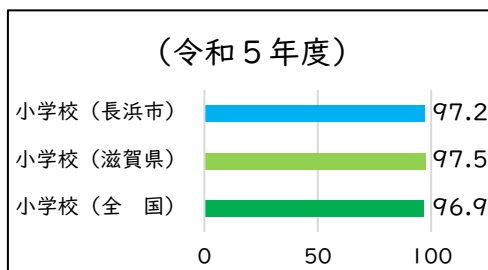
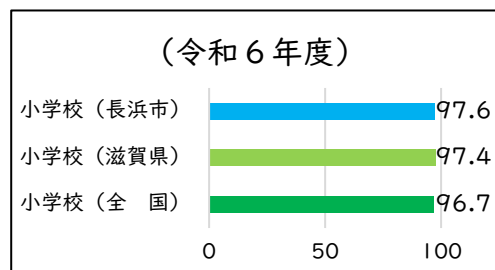


【中学校】

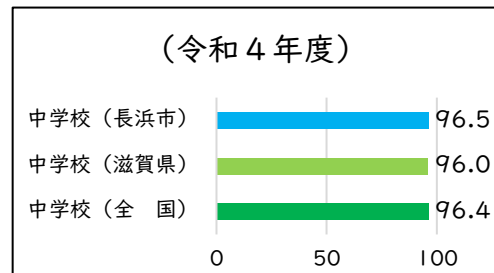
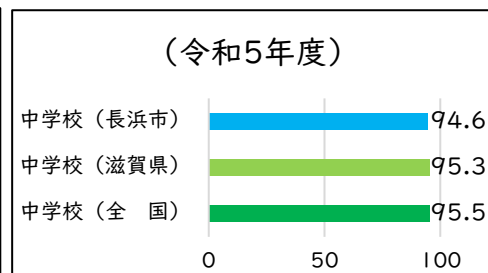
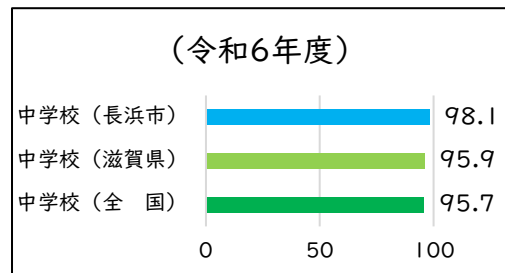


③ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

【小学校】

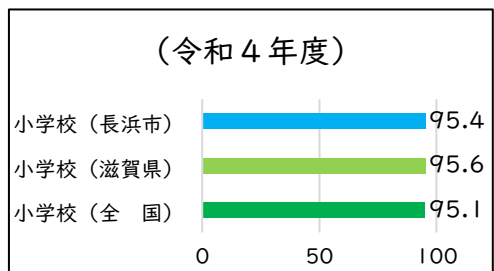
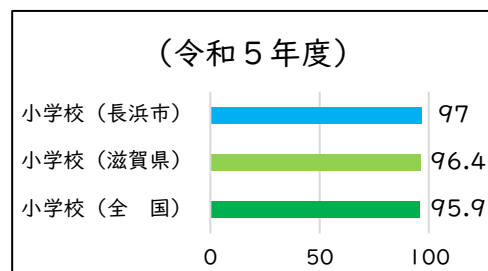
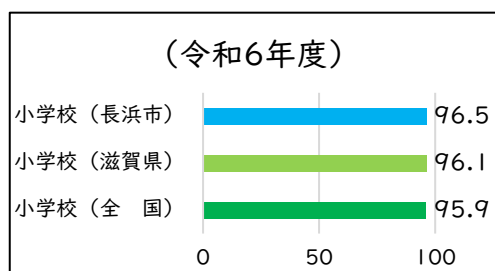


【中学校】

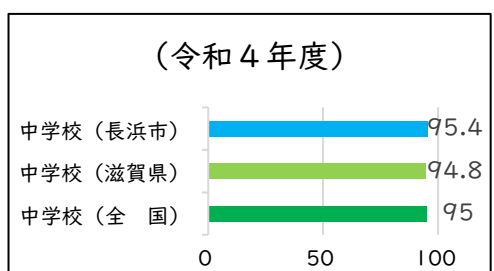
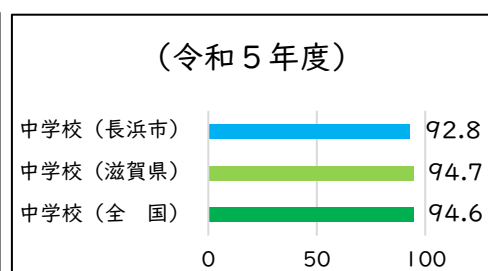
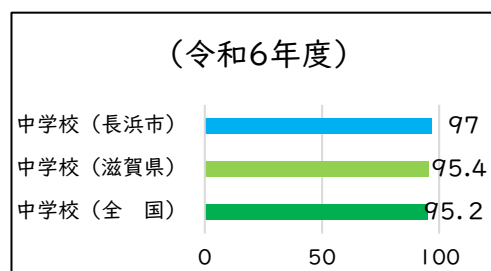


④ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか

【小学校】

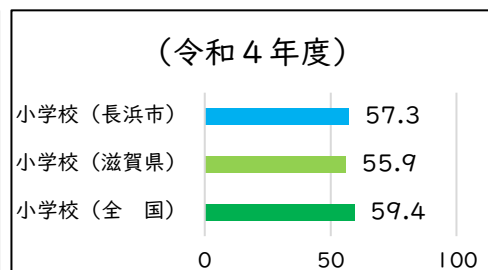
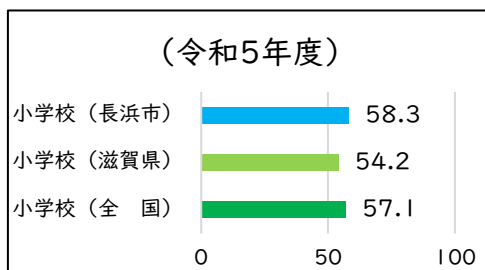
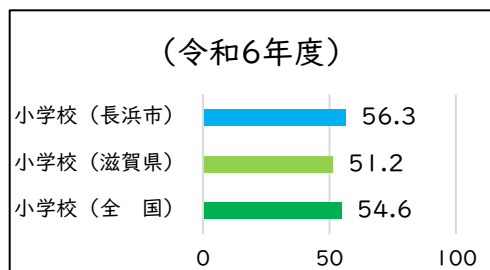


【中学校】

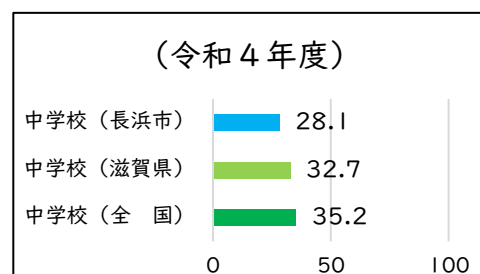
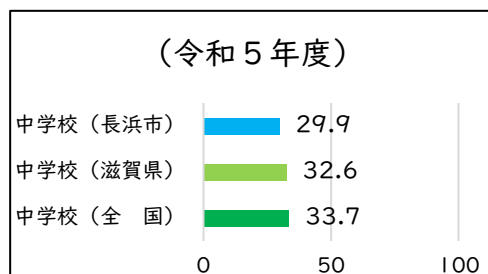
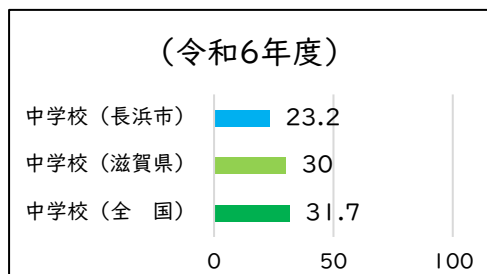


- ⑤ 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

【小学校】 ※1時間以上の割合

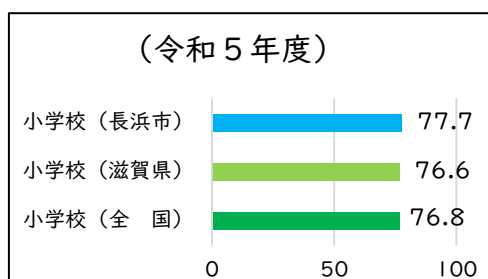
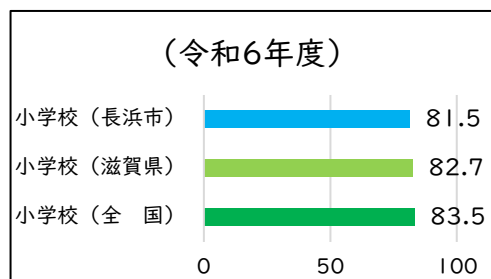


【中学校】 ※2時間以上の割合

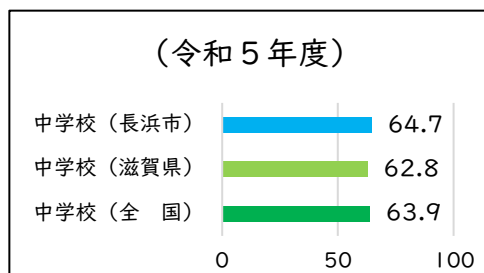
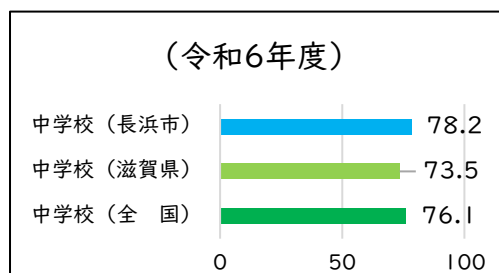


- ⑥ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

【小学校】

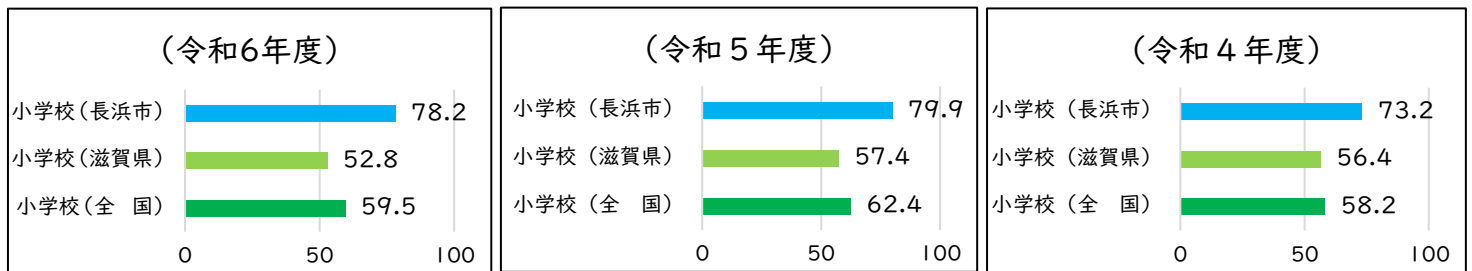


【中学校】

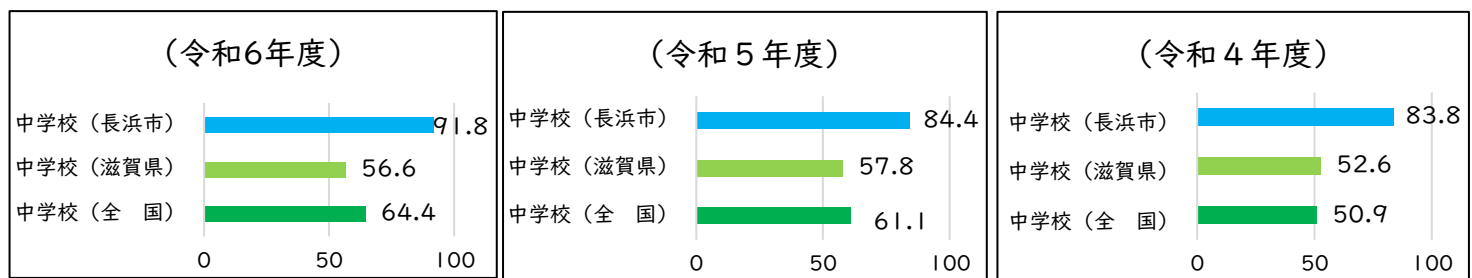


⑦ 5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、
どの程度使用しましたか ※週3回以上の割合

【小学校】

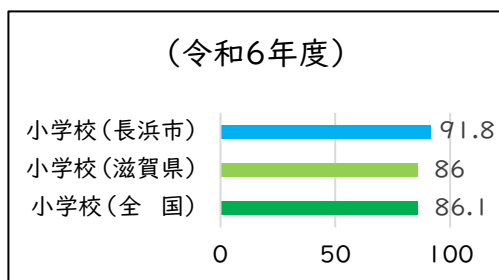


【中学校】 ※1、2年生のときに受けた授業

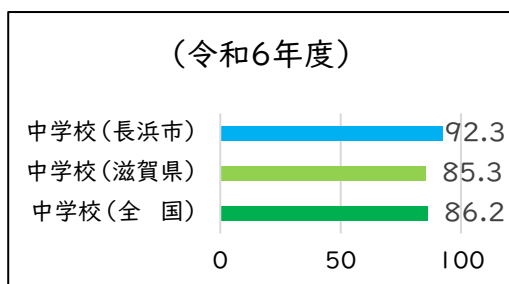


⑧ 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することによって友達と考えを共有したり比べたりしやすくなると思いますか

【小学校】

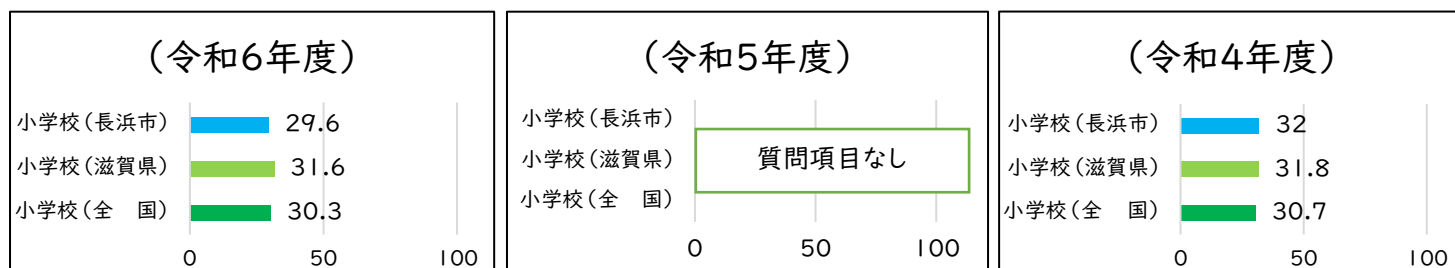


【中学校】

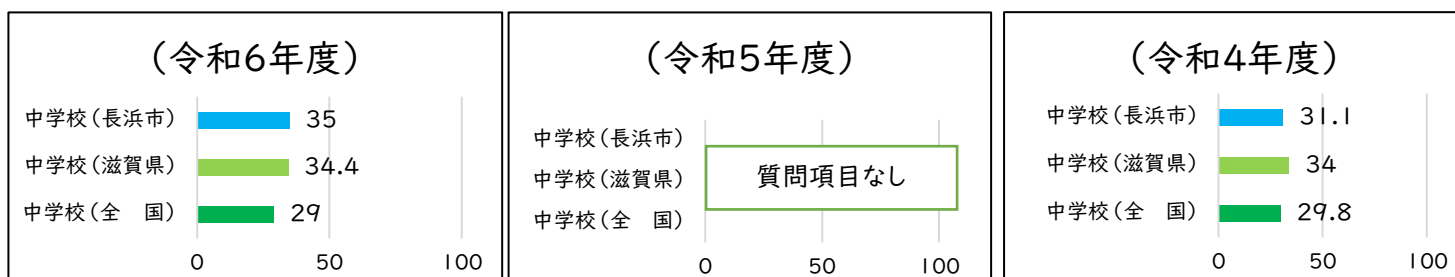


⑨ 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピューターゲーム携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか ※3時間以上の割合

【小学校】

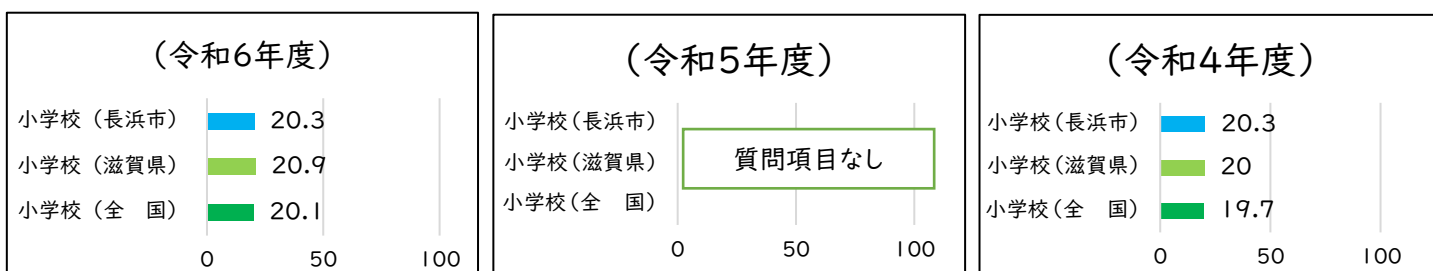


【中学校】

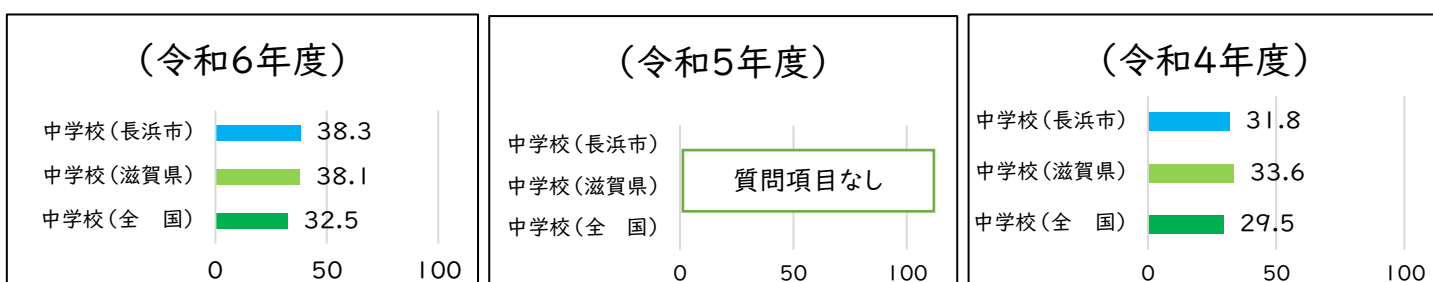


⑩ 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間は除く） ※3時間以上の割合

【小学校】

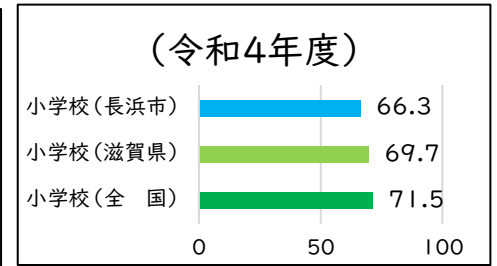
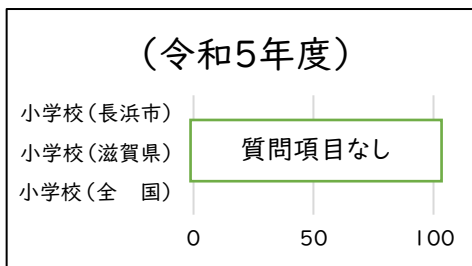
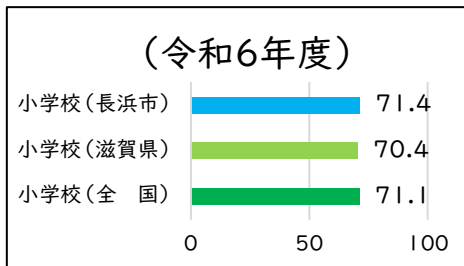


【中学校】

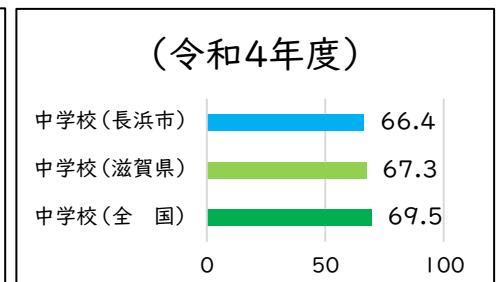
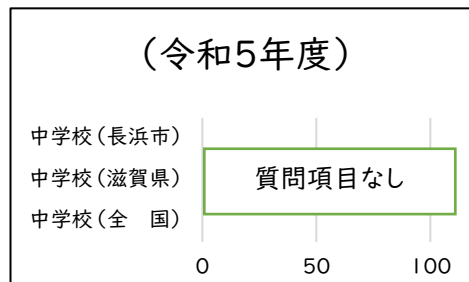
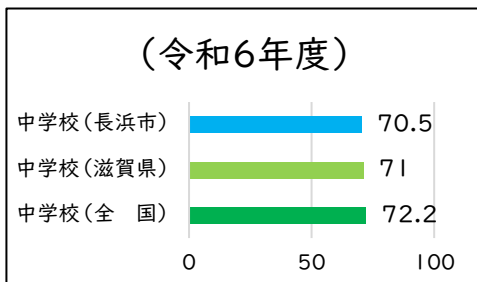


⑪ 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、
家の人と約束したことを、守っていますか。

【小学校】



【中学校】



児童・生徒質問紙の①「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、令和4年度から小・中学校ともに高くなっています。自己有用感が育まれてきたことがわかります。

②「将来の夢や目標を持っていますか」の質問に対しても、令和4年度から小・中学校ともに徐々に高くなっています。

③「いじめ」についての質問、④「人の役に立つ人間になりたいと思うか」の質問に対して、小学校は③では今年度も全国平均を越えており、④では令和4年度から全国平均を上回っています。また、両質問ともに中学校では昨年度は全国平均に至っていませんでしたが、今年度は肯定的な回答が全国平均を上回りました。

⑦「PC・タブレットの使用程度」は、小・中学校ともに全国平均を大きく上回っています。

⑧「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することによって友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる」という質問では、小・中学校ともに積極的な活用ができていることがわかります。

しかし、⑨⑩のゲームやSNS、動画視聴に関する質問結果を見ると、特に中学校でゲームやSNS等に費やす時間が長くなっていることがわかります。また、⑤「授業以外の勉強時間」について、今年度の中学校の結果が全国平均との差が大きい点が気になるところです。

実績値

	R1	R2	R3		R4	R5	R6	R7	R8
小・国	-2.8		-5.7		-5.6	-1.2	-3.7		
中・国	-2.8		-1.6		-1.0	-5.8	-3.1		
小・算	-1.6		-3.2		-4.2	-2.5	-3.4		
中・数	-0.8		-0.2		0.6	-4.0	-1.5		

同集団による比較

	R1 小 6	R4 中 3	増減
国語	-2.8	- 1.0	△1.8
算数・数学	- 1.6	0.6	△2.2

	R3 小 6	R6 中 3	増減
国語	- 5.7	- 3.1	△2.6
算数・数学	- 3.2	- 1.5	△1.7

	R4 小 6	R7 中 3	増減
国語	- 5.6		
算数・数学	- 4.2		

